

迎春



年頭にあたって



沼田市長
横山 公一

市民の皆さま、明けましておめでとうございます。輝かしい新春を健やかに迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年は、長引くコロナ禍により、2年続けて各種イベントなどの中止を余儀なくされ、また、緊急事態宣言の発令による外出自粛など、市民生活に大きな影響がありました。

これまで経験したことのない混乱の中、本市では「コロナとともに新たな沼田へ」を念頭に、沼田市電子地域通貨「tenngo（てんぐー）」の本格稼働などの経済対策や、ワクチン接種をはじめとした感染症対策に積極的に取り組んでまいりました。「tenngo」については、1万7千人を超える皆さんにご利用いただいております。ワクチン接種について

は、実に約9割の市民へ1、2回
目接種が完了しております。

教育・文化に関する事業としては「サンワ沼田武道館」を11月より供用開始したほか、10月に「ヌマタ・アート・アンバサダー」を委嘱し、文化・芸術の風薫るまちづくりに取り組んでいるところです。

市政運営においては、地域活動の拠点となる地区コミュニティセンターを設置しました。地域に根ざした市民活動を応援し、皆さんと一体となつて市民協働のまちづくりを推進しています。

まだ予断を許さない状況が続いていますが、引き続き感染症への対応を行いながら、これからはコロナ後の市民生活を見据えた施策が必要であると感じています。

本年は「コロナを超えてく未来につなぐ持続可能なまちづくり」をキーワードに、ワクチン接種の着実な進展や新しい生活様式の実践、市内経済の活性化および生活基盤の整備など、市民生活の安定と向上に資する施策の充実を図り、市民の皆様との連携・協働の下「こころ豊かに暮らし、幸せを実感できるまちづくり」に取り組んでまいります。

結びに、新しい年が皆さまにとって実り多き年でありますよう心からご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。